

16校の私学出資企業である株式会社エデュースが 学校法人玉川学園様と RPAの有用性 を検証

概要

株式会社エデュース（本社：東京都千代田区 / 代表取締役社長：松本雄一郎）は、学校法人玉川学園と共に、学校業務へのRPA適用による業務生産性の比較試験の結果を発表した。

本実証実験はRPA適用協力先として学校法人玉川学園、ツール提供として株式会社NTTデータの協力のもと、2018年10月より純国産RPAツール「WinActor®」を使用して、学校現場での実証実験を行った。

結果、現行の事務作業が大幅に軽減されることが証明され、学校現場におけるRPAの有効性が明らかとなった。

記事のPOINT

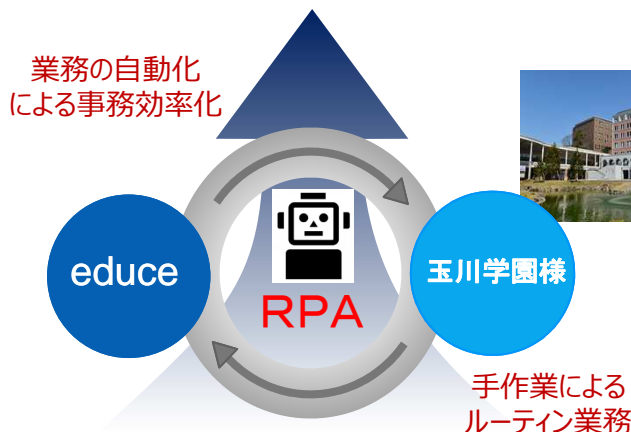
- 「学校法人の共同出資企業が、学校現場でRPAの実証実験を実施」
- 「サンプル業務において大幅な作業軽減を証明」
- 「これからの学校経営におけるRPAの有効性を証明」

※WinActor®はエヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー株式会社の登録商標です。

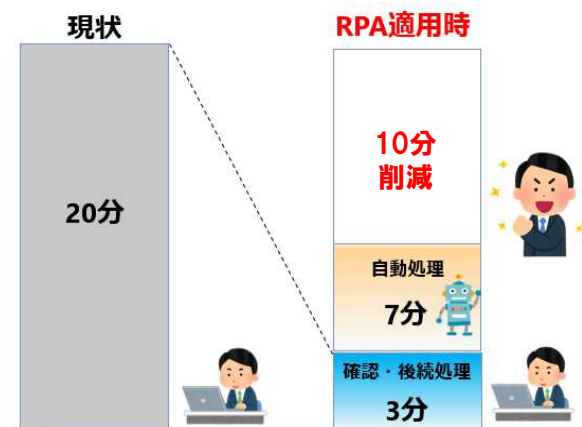
実施背景

少子化による収入減、 生産性の高い事務組織体制の構築

学校法人においては、大量のデータ処理や、人の手を介さなければ業務が完成しないような処理が多数存在している。昨今、民間企業や官公庁を中心に適用が進んでいるRPAを学内で活用することで、生産性を高められないかということが期待されている。本実証実験では、学校業務に対するRPA適用の価値と安定運用のポイントを顕在化させるため、実際の学校業務環境においてRPAツールを適用し、適用前と適用後の業務処理時間の比較を行った。



結果・総評



RPA適用により、 業務時間は確実に短縮できる。

実証実験では、経理部と人事部の2部署2業務を対象にRPAによる業務自動化の検証を行った。システム操作や、Microsoft Office (Excel、Access) 製品操作などの現在の業務をRPAに置き換えた。結果として、RPA化した業務については50%に短縮される結果となった。また、担当者は処理結果の確認や後続処理のみに時間を割くだけで良くなり、さらに削減効果を体感する結果となった。

今後の課題は、定期的に現在の業務ルールや手順の見直しを図ることや、作成したシナリオの改善等を行い、最初に導入したままにしない体制を構築することである。また、小さな業務からスタートして、対象範囲を徐々に広げながら導入を進めていくことも重要である。

本結果を踏まえ、学校法人玉川学園では、RPAツールの導入に向けてさらなる検討を進めている。

【株式会社エデュースについて】

株式会社エデュースは、16の学校法人が共同出資する日本唯一の企業であり、学校経営支援に特化したパッケージシステムサービス、コンサルティングサービス等の事業を展開する企業として、2001年3月に設立。学校向けに特化した事業で培われた学校との関係性、蓄積された学校業務ノウハウを活かし学校経営の高度化、効率化への貢献を深めている。

【出資校一覧】

学校法人 大谷学園 学校法人 学習院 学校法人 共立女子学園 学校法人 國學院大學 学校法人 修道学園
学校法人 専修大学 学校法人 創価大学 学校法人 玉川学園 学校法人 千葉工業大学 学校法人 中央大学
学校法人 東京農業大学 学校法人 東京薬科大学 学校法人 東北学院 学校法人 松山大学 学校法人 明治大学
学校法人 早稲田大学 (五十音順)

学校法人16校の共同出資企業



< こちらの記事に関するお問合せや、学校法人でのRPAの検討は、以下の担当まで >

株式会社エデュース 営業部 寺口、山崎

Tel: 03-5809-3191 mail: info@educac.ac.com URL: http://www.educac.ac.com